



企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長
阪ノ下 勝

「世界のものづくりをサポートし、社会に貢献する」

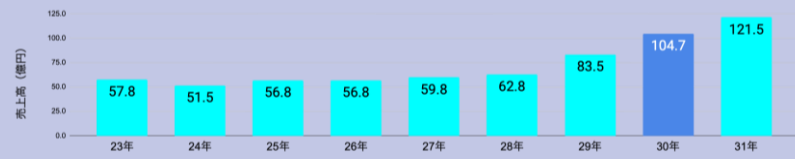
私たちは、単にモノを届けるだけでなく、お客様の課題を解決する「最適解」を提供し続けます。

創業70余年、私たちは京都のものづくりと共に歩んできました。製造業が直面する「人手不足」と「脱炭素」という課題に対し、商社の枠を超え、メーカーとして技術で解決します。
「差動式ローラーねじ」による油圧の電動化で、ヒューマノイドロボット、電動建機、成形機、医療機器の進化を加速。2030年売上100億円を通過点に、情報力×技術力で世界の産業機械を支える企業へ進化し、社会に貢献することを宣言します。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2030年にグループ売上高100億円を目指す。「ローラーねじ」のグローバルニッチトップ化。エンジニアリング事業比率の拡大による高収益体質への転換。



課題

- **生産能力の限界:** ファブレス体制のみでは、今後爆発的に増大する需要（試作スピード・量産コスト）に対応できない。
- **機能の分散:** 「設計（本社）」「製造（子会社）」「営業（支店）」が物理的に離れており、開発リードタイムにロスが生じている。
- **実証環境の欠如:** 新技術（ローラーねじ、省エネ機器）を顧客に「見せて、信じてもらう」ための実稼働拠点が不足している。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

1. **【Deep Tech】ローラーねじの世界展開**
独自「転造技術」で価格破壊を実現。大連拠点をハブに巨大なアジアのEV・ロボット市場に展開する。
2. **【Base】FA・商社機能の高度化**
新拠点にて設計・加工・組立を一気通貫で行い、高付加価値なFAラインを短納期で提供する。
3. **【Green】環境ソリューションの実証**
「地下水クーラー」等を自社工場で実証稼働させ、効果を可視化して製造業へ展開する。

実施体制

- **（株）サカノシタ（戦略・開発）**：「ローラーねじ」の特許・製品開発、FAシステム設計、全体統括。
- **（株）クリーン精光（製造）**：ローラーねじ基幹部品（軸・ナット）の超精密加工、マザー工場機能。
- **阪之下商貿（大連）（海外展開）**
巨大な中国・アジア市場への販売網構築およびグローバル調達。
- **外部連携**：KyoHA（京都ヒューマノイドアソシエーション）、NARO（農研機構）、地域金融機関との強固なパートナーシップ。



ファクトリーシステムのトータルサポート

○本社所在地：京都府京都市南区東九条柳下町7

- 事業概要：
 - 生産財・工作機械の専門商社
 - 自動化設備の設計・製造（エンジニアリング事業）
 - 自社製品の開発・製造（メーカー事業）

○常時使用する従業員：80名

（グループ全体・2025年5月期）

○現在の売上高：56.8億円

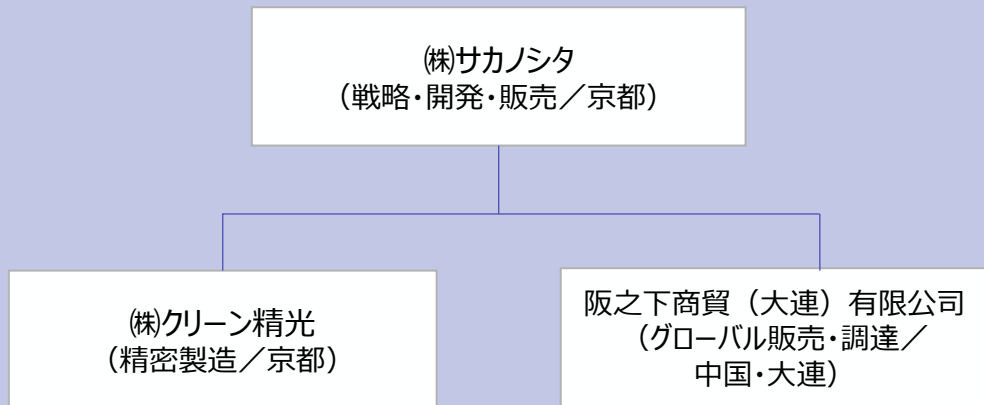
（グループ全体・2025年5月期）

○法人番号：7130001010672

○Web：http://sakanoshita.com/

※本宣言は企業自身はその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

売上高100億円実現の目標とグループ体制



創業70余年で培った商社機能を土台に、世界的な「脱炭素・電動化」で顕在化する課題に対応するため、サカノシタグループは「開発（株）サカノシタ × 製造（株）クリーン精光 × 海外展開（阪之下商貿（大連）有限公司）」の3翼で、**エンジニアリングメーカーへ進化します。**

■ 商社の枠を超え、エンジニアリングメーカーへ転換

開発×製造×海外（サカノシタ／クリーン精光／大連）の3翼で推進

◆【Deep Tech】「ローラーねじ」の量産化と世界展開

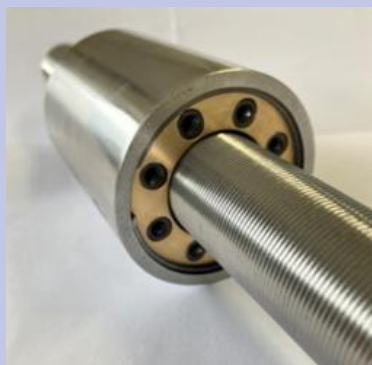
・ 独自の「差動式×転造技術」で価格破壊を実現。サカノシタが開発、クリーン精光が精密加工、そして将来的には**大連拠点をハブとして、巨大な中国・アジアのEV・ロボット市場へ展開する。**

◆【Base】FA・商社機能の高度化

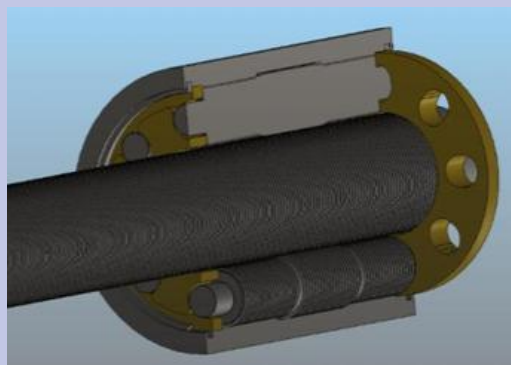
・ 新拠点『Sakanoshita Technical Hub』にて、設計～加工～組立を一気通貫で行い、高付加価値なFAラインを提供する。

◆【Green】環境ソリューションの実証

・ 「地下水クーラー」等の省エネ技術を自社工場で実証し、SDGs対応を急ぐ製造業へ提案する。



差動式ローラーネジ（外観）



差動式ローラーネジの断面図

